

山岸善澄家文書目録について

山岸善澄家は、仁礼村の産土神・生守神社の神官を勤める社家であった。明治期末までは、山岸刑部・登が神官を勤める一方、手習い師匠もしており、子弟 10 数人が集まったとされる。

明治末の神社統廃合のころから神官職をされていないが、神社境内入口に住宅が存在し、社家の面影を漂わせている。

史料は、火災のため古文書類は焼失とのこと残念である。現当主の善澄氏が持参された 3 点だけであるが、明治維新期の戊辰戦争に動員された日記 2 点と、仁礼中馬塚（軽尻）の史料があり、貴重である。

なお、中馬塚ぎ帳の後ろに、居宅屋根奉加が付されている

平成 24 年 5 月 12 日

須坂市誌編さん室

【追記】

善澄氏が持参されたのは、陣羽織の写真 4 点があり、貴重である。

2021 年（令和 3）11 月 15 日

須坂市誌編さん室